

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和2年1月31日

事業所名:発達サポート 児童デイやまびこ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○	・テーブルを取り除く等室内環境を整え広く活用するなどの工夫をしている。	・突発的な動きや発作のある利用児がおり子ども同士の距離が必要である。接触のリスク等軽減ため空間の有効活用を検討していく。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		・必要に応じて応援依頼をするなど対応をしている。	・長期休業日等、日により手薄になる。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・見た目がきれいではない箇所は定期的、重点的に清掃をしている。	・湿気が多く、壁にカビ、汚れが付きやすい。壁紙の張替えなど今後検討していく。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・毎月業務改善検討会議を実施している。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・保護者の評価、ご意見を基に、また事業所の自己評価を職員全員で周知し改善へと繋げる事ができるよう努めている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・HPに保護者向け評価表及び事業所自己評価表を公開している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		・定期的にはリスクマネジメント委員会によるラウンドチェックが行われ改善に取り組んでいる。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・公開療育や研修等参加し、職員会議を行い業務の共通理解を図っている。	・自己啓発の研修等の機会を積極的に設けていけるよう体制を整えていく。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・ガイドラインの示す支援に必要な項目を各利用児の状態、環境に合わせて選択し、支援内容の選択を行っている。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			・具体的な支援が継続できていないこともあり、支援体制の改善に努めていく。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・保育士が中心となり計画を立案しており内容に沿って看護師に意見をもらう等立案を工夫している。当日の朝、打ち合わせを行っている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・季節感を取り入れ同じ活動でも変化が出るようにしている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			・計画はできているが沿った実践、内容の深さ等課題がある。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・活動や支援に入る前には必ず事前の打ち合わせ、役割の確認を行っている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		・支援に入ったスタッフ間で気になった点があれば振り返りを行っているが、毎日ベースでの振り返りはできていない。時間の確保等の課題がある。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・記録から振り返り改善につなげている点もある。記録の中身や質の向上が課題である。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・担当者会議には医療面、療育面での専門スタッフが会議に参加するようにしている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○		・各利用児の相談支援専門員との担当者会議等での情報交換を行っているが、外部関係者との連携はない。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			・保護者や相談支援専門員、学校担任を通して情報を得ているが不足していると感じる事もあり、各関係機関との密な連携が課題である。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		・家族を通じて医療面での情報は得ているが主治医との直接的な連絡体制はなく課題である。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・移行支援シートを活用し、情報の共有を図っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・移行支援シートを活用しているが、訪問教育等直接担任と話す機会が少ないためもっと機会を増やせたらと思う。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・公開療育や事業所連絡会、多機関連携勉強会へ参加し、事業所間での情報交換を行っている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・センター内の利用児との交流はあるが、園外での交流の場は設けていない。今後検討していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	・参加の機会は少ないが参加している相談支援専門員から情報をもらうように努めている。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・送迎時や連絡帳、定期的な面談で共通理解を図っている。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	・リハビリテーション支援、栄養相談等の連携を図り専門的アプローチ方法の指導を受け支援し保護者への伝達を行っている	・ペアレントトレーニングプログラムの実施は現在できていない。現状実施の計画はないが、トレーニングについての知識、技術の研鑽に努めていく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・日頃から不安感や困り感について聞き取り、必要に応じて助言や関連部署との連携を図り解決に近づくことができるよう努めている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・年2回程度交流の場は設けているが場の機会を増やすことについてニーズが高いため今後の課題である。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・家庭の都合に合わせて柔軟に対応したり、リハビリスタッフと連携し、保護者へ支援内容を返している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・年度始めに年間行事計画書を配布。2か月に1回おたよりを発行している。 ・毎月の活動計画表の配布を行っている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・HPや掲示物、会報、研修会等に使用する各個人情報についてその都度事前に使用許可を頂いている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・利用児の自己選択、自己決定について児の認知面を見極め、思いを汲みながら支援を実践している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・法人全体で年に1回ふれあい祭りを開催している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			・定期的にSOS訓練を行っているが保護者への日時や訓練内容の周知は不足している為、事前に伝達を徹底するよう努める。 ・実際に非常階段を使つての避難などは行っていないためする必要があると思う。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・毎月防災避難誘導訓練を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・利用開始時、変更時に各医療ケアに関する情報の収集と把握をしている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・保護者の情報により食物アレルギーの把握を行い、提供する食事についての対応を行っている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・作成された事例において事業者内で回覧、共有し必要に応じて事例対策会議等を行っている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・虐待防止、権利擁護研修に全員必須で参加している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・利用開始時、面談で身体拘束についての説明をし了承を頂いている。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。